

防衛問題と食糧問題

憲法改正論議が本格的に始まっているが、おかしなことがある。憲法改正は知性と理性に基づいて議論するものと思うが、感情に基づいた問題提議がされている。「現憲法は占領軍によって作られたから改正しなければならぬ」という提議は、現憲法の内容についての提議ではない。憲法を作った人間が誰であれ、内容が日本にふさわしいなら憲法として機能するのではないだろうか。もう一つは「安

農業と国土

NPO 生物多様性
農業支援センター
理事長 原 耕造

コメの生産と消費

	太閤検地前	太閤検地時	現在	経済封鎖時
1人1日消費量	3合	3合	1合	3合
1人年間消費量	1石 (1000合)	1石 (1000合)	4斗 (400合)	1石 (1000合)
1石生産必要面積	1反 (360坪)	1反 (300坪)	4畝 (100坪)	4畝 (100坪)
水田面積	150万町歩	200万町歩	200万町歩	250万町歩
生産石高	1500万石	2000万石	6000万石	7500万石
扶養可能人口	1500万人	2000万人	?	7500万人



コメの計量マスと精米機

倍政権の時に憲法改正するのは反対」という世論調査の結果だ。憲法改正は時の総理大臣が誰であれ、改正の必要があればするものではないのか。いずれも「坊主憎けりや袈裟まで憎い」の類の論理だ。防衛問題を論ずる時に忘れてはならないのは食糧問題で

ある。いくら立派な軍備をしなくても食糧の補給が途絶えた軍隊は勝利できない。先の大戦でも兵士の死亡原因の大半が餓死だった。国内周辺が戦場となる個別的自衛戦争より、海外が戦場となる集団的自衛戦争において、食糧問題は勝敗の決定的要因となる。

朝鮮半島有事の場合には自衛隊の食糧確保問題とともに、日本に來ると思われる半島難民の食糧確保が大きな問題となる。ドイツは難民を80万人受け入れているが、日本の場合は何人になるか分からない。しかし、防災問題と同様に想定をしなければ対策は立てられない。

難民を100万人と想定した場合、どのようなシミュレーションになるか。難民がコメを1日3合食べると仮定すると以下のようになる。

1日当り3合×100万人
= 300万合 = 30万升 = 3万斗 = 30000石。30000石をキログラム換算すると30000石 × 150キログラム = 450万キログラム。1日当り難民全体で450万キログラムとなり、年間では16万50000トとなる。現在の日本の食料備蓄は100万トなので、難民想定が100万人なら対応できるが、600万人になれば1年で備蓄は底をついてしまう。

第2次大戦ではイギリスがドイツの潜水艦によって食糧輸入が不可能になった。キューバはミサイル危機以降、経済封鎖されたため肥料の輸入が途絶えた。化学肥料の輸入が途絶えた結果、有機農業をせざるを得ない状況に追い込まれ、今日まで来ている。

自給率40%弱

中国が黄海・東シナ海・南シナ海からインド洋に抜ける海域を封鎖する可能性は、想定外と片付けて良いのだろうか。

平和憲法があれば海上封鎖されても元寇のように神風が吹くのだろうか。日本は経済封鎖されていない状況のなかで食料自給率は40%を切っているが、経済封鎖された場合を想定してみよう。

日本は戦後、化学肥料や農薬を使った近代農業に転換し

て米の生産数量は飛躍的に増加した。しかし、北朝鮮と同様に近代農業に必要な資材や燃料が経済封鎖で輸入できなくなればどうなるか。

肥料や農薬が無い場合の米の生産は自然農法になり、江戸時代の生産数量である1反当り2石弱になると予想される(太閤検地の時代は1反当り1石)。現在の平均的生産数量1反当り6石の3分の1になつてしまう。現在の米の生産数量1000万トが300万トになつてしまうことを意味する。この想定数量で日本人は何

人生き残れるか? 難民対応まで考えた場合、餓死が現実のものとなつてしまう。

憲法は国民の生命と健康と財産を守るために存在し、国民は憲法によって国に歯止めをかけることが出来る。現在の憲法改正では有事の際の自衛隊のことだけが論じられているが、本当の有事対応とは軍備と食糧をセットで考えなければならぬ。

有事対応の中には戦争だけでなく災害も含まれるが、わが国にはスイスの国土利用のように農地の有事対応についての議論はない。40万畝の耕

作放棄地に対する有事対応の議論も無く、地域環境保全を前提とした農業のあり方についても国民的議論は無い。

憲法改正で自衛隊の存在を明記して国民の認識を新たにするのであれば、同様に食糧を生産し地域の環境を保全する農業と農家の存在を憲法に明記し、国民の認識を新たにしなければならぬ。

国民の生命を守れない国家は存在出来ないし、その時に日本人はディアスポラ(民族としての出身国や地域を離れて生活を送る集団)となる運命が待っている。